

目的・目標達成度

目的	2008年(H20)度目標	目的・目標達成度
環境関連の研究開発などの実施により、環境負荷の低減を図る	環境に有益な研究開発を維持または増加し、事業進捗状況を管理し研究目的の100%達成を目指す	環境に有益な研究開発：鳥取8件、米子4件、境港7件を実施。 終了テーマは、当初目的をほぼ達成し、継続テーマについては進捗状況を管理。 ※達成
	環境関連の講演会を年1回以上開催する(3施設各1回以上)	22回開催(鳥取12回、米子4回、境港6回) ※達成
	環境関連の巡回技術指導を年48件以上実施する(応用電子4件、有機材料10件、産業デザイン2件、酒づくり4件、生産システム・無機材料合計20件、食品技術4件、応用生物4件)	825件実施(応用電子77,有機材料67,デザイン110,酒42,生産システム205,無機材料86,食品99,応用生物49) ※達成
電気、ガス、コピー用紙の使用量を削減し、エネルギー・資源の消費削減を図る	2007年(H19)度比 ・電気使用量 ±0% ・ガス使用量 ±0% ・コピー用紙使用量 ±0%	2007年(H19)度比 ・電気使用量 -0.4%(全体) -3.6%(鳥取)、+6.1%(米子)、+3.2%(境港) ・空調用ガス使用量 -25.1%(全体) -25.1%(鳥取) ・コピー用紙使用量 +11.0%(全体) +15.6%(鳥取)、-8.8%(米子)、+13.0%(境港) ※一部未達成 電気使用量(米子、境港)、コピー用紙使用量(鳥取、境港)が未達成。 マネジメントシステムに基づき、目標の見直し等検討。
グリーン購入による、リサイクルや環境に配慮した物品購入に努める	・グリーン購入の推進	オフィス用品等管理手順書の研修実施。 コピー用紙、文具など県のグリーン購入調達方針に準じて対応。不適合用品の購入実績無し。 ※達成
薬品の適正使用、適正管理により、薬品の流出防止に努める	薬品の適正使用、適正管理の推進	薬品管理データベースの運用管理、研修実施。 法令遵守し対応。 ※達成
災害時の薬品漏洩の予防措置及び薬品保管量の削減により、災害時の薬品漏洩の防止に努める	災害時の薬品漏洩の予防措置を講じる	緊急時避難訓練(テスト)を実施 薬品管理手順書の有効性を確認。緊急時対処用品の配備済。 ※達成
	2007年(H19)度比 薬品保管量 -2%	2007年(H19)度比 薬品保管量 +0.8%(全体) +3.0%(鳥取)、+13.5%(米子)、-3.2%(境港) ※一部未達成(鳥取、米子が未達成。) マネジメントシステムに基づき、目標の見直し等検討。
薬品廃液の適正管理・処理により、汚染の防止に努める	薬品廃液の適正管理・処理の徹底	委託による不要薬品、廃液の廃棄処理。 関係法令を遵守しマニフェスト入手など適正処理。 ※達成
集塵機、かんな盤、まるのこ盤、冷却塔の適正管理により、騒音の低減に努める	集塵機、かんな盤、まるのこ盤、冷却塔の維持管理の徹底	鳥取の騒音測定50~60db程度で基準値(70db)以下。 ※達成
PH処理装置の適正管理により、PH未処理排水の流出防止に努める	PH処理装置の維持管理の徹底	処理装置は日常点検、定期点検を実施。異常なし。 排水水質検査結果も異常値なく基準以下。 ※達成